

施策等名称	長寿命化の推進	体系番号	0601010202
		主管課	都市計画課

2 指標等の推移と変動要因

体系区分	成果指標名	計画策定時	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
指標No.		中間目標値	実績値 / 達成率(実績値÷目標値)				
施策	修繕工事費	1.50	1.42	1.16	1.06		
		1	1.50	94.36	77.33	70.67	0.00
変動要因等	2018年度	金沢・湖東・北山小学校、北部中学校、ちの保育園、ハヶ岳総合博物館、総合体育館、スケートセンター機械室、屋内ゲートボール場、ひばりヶ丘団地E棟、米沢地区コミュニティセンター土蔵の防水や外壁等の修繕工事を実施しました。					
	2019年度	玉川・泉野・金沢・湖東小学校、東部中学校、広場野球場スタンドの防水や外壁等の修繕工事、北部中学校外壁等修繕工事の実施設計を実施しました。					
	2020年度	米沢小学校、東部中学校、国際スケートセンター、陸上競技場スタントの防水や外壁等の修繕、尖石縄文考古館テラス手すり等の修繕工事を実施しました。					
	2021年度						
	2022年度						
柱1	修繕工事費	1.50	1.42	1.16	1.06		
1		1.50	94.67	77.33	70.67	0.00	0.00
変動要因等	2018年度	金沢・湖東・北山小学校、北部中学校、ちの保育園、ハヶ岳総合博物館、総合体育館、スケートセンター機械室、屋内ゲートボール場、ひばりヶ丘団地E棟、米沢地区コミュニティセンター土蔵の防水や外壁等の修繕工事を実施しました。					
	2019年度	玉川・泉野・金沢・湖東小学校、東部中学校、広場野球場スタンドの防水や外壁等の修繕工事、北部中学校外壁等修繕工事の実施設計を実施しました。					
	2020年度	米沢小学校、東部中学校、国際スケートセンター、陸上競技場スタントの防水や外壁等の修繕、尖石縄文考古館テラス手すり等の修繕工事を実施しました。					
	2021年度						
	2022年度						
			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
変動要因等	2018年度						
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
変動要因等	2018年度						
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
変動要因等	2018年度						
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
変動要因等	2018年度						
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						

施策等名称	長寿命化の推進	体系番号	0601010202
		主管課	都市計画課

3 評価・改革改善

(単位:円)

項目		2018年 (前年度比)	2019年 (前年度比)	2020年 (前年度比)	2021年 (前年度比)	2022年 (前年度比)
投資額	事業費(円)	141,544,000	116,193,000 0.82	106,414,000 0.92		
	うち一財(円)	141,544,000	116,193,000 0.82	106,414,000 0.92		
	増減理由 (一般財源 前年度比 ±10%以上 の場合に 記載)		予算査定結果によります。	予算査定結果によります。		
進捗評価		おおむね順調	やや遅れている	おおむね順調		
総合評価	主な取組内容や成果	金沢・湖東・北山小学校、北部中学校、ちの保育園、ハケ岳総合博物館、総合体育館、スケートセンター機械室、屋内ゲートボール場、ひばりヶ丘団地E棟、米沢地区コミュニティセンター土蔵の防水や外壁等の修繕工事を実施しました。	玉川・泉野・金沢・湖東小学校、東部中学校、広場野球場スタンドの防水や外壁等の修繕工事、北部中学校外壁等修繕工事の実施設計を実施しました。	米沢小学校、東部中学校、国際スケートセンター、陸上競技場スタンドの防水や外壁等の修繕、尖石縄文考古館テラス手すり等の修繕工事を実施しました。		
	課題	躯体の保全を重視し、特に屋根や外壁について予防保全を図る必要がありますが、現在は、雨漏り等による不具合箇所の事後保全を行っている状況であり、予防保全には至っていません。	躯体の保全を重視し、特に屋根や外壁について予防保全を図る必要がありますが、現在は、雨漏り等による不具合箇所の事後保全を行っている状況であり、予防保全には至っていません。	躯体の保全を重視し、特に屋根や外壁について優先順位付けを行い実施してきましたが、それ以外の部位や設備機器についても、優先順位付けを行い保全する必要があります。		
改革・改善	改革・改善内容	屋根や外壁について、施設所管課による点検結果に基づき、現地調査を行い、優先順位を付けて修繕工事を実施します。	屋根や外壁について、施設所管課による点検結果に基づき、現地調査を行い、優先順位を付けて修繕工事を実施します。	各施設を所管する担当者による点検結果や建築基準法等の法定点検結果の情報を一元化したうえで、必要な修繕工事の優先度を点数化し、優先順位付けを行い、長寿命化やライフサイクルコストの削減を目指します。		
	施策の柱等の重点化	重点化する施策の柱	1	1	1	
		重点事務事業	1	1	1	
	理由	躯体の保全を重視し、特に屋根や外壁について予防保全により長寿命化を図る必要があります。	躯体の保全を重視し、特に屋根や外壁について予防保全により長寿命化を図る必要があります。	公共施設を長期間にわたり使用するために、利用者が被害を受ける可能性がある場合や、設備機器の故障により使用が制限される状態、本来要求される機能を満たせなくなる状態にならないよう保全する必要があります。		

作成担当者	東城真平	東城真平	東城真平		
最終評価責任者	伊藤弘通	伊藤弘通	篠原尚一		
最終評価年月日	2019年5月31日	2020年7月8日	2021年6月16日		